

地域の課題若い視点で

中学生議会 平和学習など提案

加古川

加古川市内の中学生 中学生議会（神戸新聞が市の課題解決など社後援）が1日、市役所であった。加古川青

年会議所が昨年に続いて開き、2回目。7中学校から24人が参加し、地域の将来像を熱弁した。

各校の参加者は5月から提案書を作成し、テーマごとに話し合っ

て修正するなどして、この日の本番に臨んだ。

各校の提案は、1月17日に防災士を招いた

防災訓練の実施（氷丘）▽夏休みに公民館の一部を学習スペースとして開放（中部）▽投票

率向上へ、授業参観日を投票日に設定（平岡）▽体験型平和学習の拡

充（浜の宮）▽イベント。

BAN-BAN 11ch

きょうの見どころ

フカヨミ = 全国最大規模の
公募展、水墨画本田恩光さ
ん特別賞◎いまどこ = 夏の
イトコどりスペシャル

(問い合わせ ☎079-421-3736)

トとごみを拾う集会の開催（志方）▽エネルギー節約分を活用した基金の設置（加古川）▽部活動施設の充実（両荘）ーなど。

田淵博之教育長は「提案はとても分かりやすく、足元を見つめて次代につなぐ柔軟な発想だった。経験を今後の活動につなげてほしい。提案は行政、教育のヒントとしてどうすれば実行できるか考えていきたい」と述べた。（小林隆宏）



加古川市役所＝中学生らによる提案の独創性